



えんだより



2024年2月
認定こども園 カトリック吉野幼稚園

主 題：「認め合う」

聖書のことば：「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。

すべての事において感謝しなさい。」(テサロニケ5:16)

早いもので、今年ももう1か月が過ぎてしまいました。昔から「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言われていて、3学期はあっという間に過ぎていくようです。今年度も、残り2か月を切ってしまいました。

子どもたちは、寒いながらも元気に登園して、園生活を頑張っている様子で、私も元気をたくさんもらっています。一方、厳しい寒さなどで体調を崩す子どももいるようですので、引き続きご家庭での健康管理（毎朝の検温、うがい手洗い、栄養、睡眠、運動等）に留意していただきますようお願いいたします。

さて、今回は「**感覚の敏感期**」のお話の続きです。**敏感期**とは、「子どもが、何かに強く興味を持ち、集中して同じことを繰り返す、ある限定された時期」のことです。

3歳前後の子どもが「**同じ(同一性)**」にこだわり始めたら、それが「**感覚の敏感期**」のはじまりです。色や形、音、においなど、五感をフルに活用して比較するようになります。同じ色や、同じ形など、いろいろな「**同じ**」を追求してきます。

「おんなじー」ブームの次は、「**比較**」になります。高さ、大きさ、重さ、音程などを比較して、その差にこだわるようになるのです。積み木や人形などを、高さの順にきれいに並べたり、それぞれを手にもって、重さを比べたりします。そして、それを親や先生たちに自慢げに話したりします。その時には、話しかけられた大人は、しっかり対応してあげてください。そうすることによって、敏感期が進んでいくのです。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

【園長 野田弘之】

2月の
ねらい

- Aグループ・小学生になることへの期待を膨らませ、意欲的に生活する
- Bグループ・年長児の活動を見て、自身の意欲を高めながら進級に期待を持つ
- Cグループ・身支度を自ら行う中で生活習慣が身に付き、自信を持って活動に取り組む
- Dグループ（つぼみ）・異年齢の交流の中で、進級に向けての期待感が高まる